

2006年1月1日 Vol.331

2006三原JCスローガン

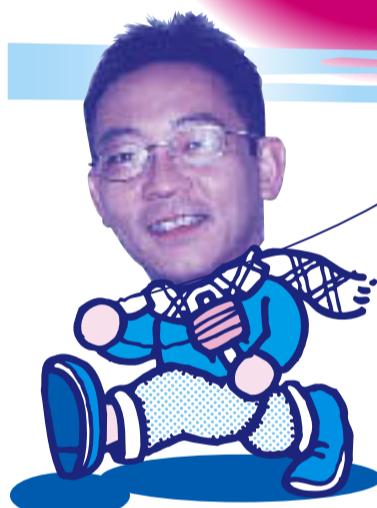


三原JCビジョン



謹賀新年

誇りある
オンリーワンの
輝くまち三原



理事長 田尾 敏範

意氣



理事長・副理事長・専務理事



会員拡大・交流委員会



研修委員会



誇りあるまち創造委員会



次世代育成委員会



広報委員会



新年の
ご挨拶

(社)三原青年会議所

理事長

田尾 敏範



新年明けましておめでとうございます。

日頃より(社)三原青年会議所の活動に対しご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

【誇りあるまちを目指して】

(社)三原青年会議所は、合併を新たなまちづくりのチャンスと捉え、市民の皆様と合併後のまちづくりについて考えて参りました。そして、昨年発表した新ビジョン「三原の誇想創力」で提唱しているように、新三原市の将来像として、市民一人ひとりの生活並びに資質が向上し、それぞれの地域の個性を活かした一体感を持てる「誇りあるまち」を創造してゆかなければならぬと考えま

2006三原JCスローガン「意氣」

【確かな青年会議所であるために】

(社)三原青年会議所は、明るい豊かなまちづくりを基本理念として様々な事業を行って参りました。これらの事業が青年会議所の自己満足に終わるのでは、その効果は期待できません。そのためにも私たちは、市民の皆様から意見を聴くと共に、物事の本質を見極め、一人でも多くの方に私たちの意気込みを伝えてゆきたいと考えます。また、事業を成功へ導くものは、会員一人ひとりの高い志と、会員が一丸となった時にこそ出し得る力に他なりません。そのためにも、より一層の会員の自己研鑽並びに組織力の向上に努めてゆきたいと思います。

最後になりましたが、(社)三原青年会議所第45代理事長として、精一杯努力して参る所存ですので、本年も皆様方の暖かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。併せて、本紙「やつともっさ」のなお一層のご愛読をお願い申し上げます。

みたがきいたぐ

◆また新年を迎える事ができた。よく聞く話だが、年齢を重ねるたび一年が経つののが早くなっているように感じる。いつの間にか40代がすぐそこに来た。今年は40代を自分にとってどんな10年にしてゆくのかを考えたい。

◆さて、自分のことは置いておいて、社会的にはどのような一年になるのだろう。昨年末にかけては女児殺害事件の多発、子どもを対象とした犯罪、子どもが通う塾でさえも殺害事件がおきた。また、子どもを守るべきはずの親がわが子への虐待をしてしまうなど、暗い話題が多かったの

ではないか。私も年頃の子をもつ親として、子どもを守る為にはどうすればいいのか考えさせられる事件だった。

◆今年の三原はどんな一年になるのだろう。今年三原は合併して最初の新年を迎えたわけだが、ホントの意味での新しい三原になるためには行

なわねばならない問題は山積みだろう。しかし、多くの課題はあると思うが、次世代を担う子どもたちが安心して学校や塾に通え、自由に外で遊べる環境を学校や家庭や地域を交えて整えてゆく必要が急務であると痛切に思う。

